

第4回出資法人等協働評価専門部会会議録

日 時	平成26年10月30日（木）午後1時～5時
場 所	生涯学習センター小会議室
出席者	【委員】山田晴義委員長（部会長）、小野寺純治委員、栗田但馬委員、谷藤邦基委員__（宗和暢之委員は欠席） 【事務局】 【担当部等】
傍聴者	1人

これまでの協議及びヒアリングを受けて各委員が記入した評価シートの内容を確認し、部会の意見集約を図った。

次回までに評価シートを整理し、第5回会議で最終確認することとした。

評価シートについて、委員会の総括的な評価をすることとしたことに伴い、評価シートの一部修正を行うこととした。

2 部会長あいさつ

お忙しいところ出席いただきありがとうございます。本日結論を出していくという日になっております。次回が最終会議ですが、全体会議があり修正の時間があまりないということで、本日で大体のところを決めていただきたいと思います。

私自身そうだが、評価に慣れてきたところもあり、そのようなことによる問題点もあろうかと思っておりますので、最後までしっかり評価していきたいと思っております。

3 協議

(1) 工業の振興について

株式会社北上オフィスプラザ

【追加資料等担当部説明】

[略]

【質疑応答】

(委員) 産業支援アドバイザーの経費について、オフィスプラザの自己資金としての経費は、取締役就任された2年だけで、あとは補助金の中から人件費が出ているという理解でいいか。地域連携推進協力員の際には岩手大学は支払わないはずだが、その期間はどうか。

(担当課長) その部分は確認していない。

(委員) 現在岩手大学の金型技術センターは、オフィスプラザではなく基盤技術支援センターに入居されているが、オフィスプラザとの連携はどうなっているか。今

実際に目に見えるかたちでオフィスプラザが関与しているのか。

(担当課長) 平成20年頃までオフィスプラザに入居していた。金型技術支援センターとオフィスプラザでは業務上の関係が深く、研究分野で産業支援アドバイザーが入って産学官の連携を図っている。

(委員) 社長と専務の常勤役員がいるが、その業務を市ではどのように捉えているか。

(担当部長) 第三セクターとしての役割という使命も帯びているので、三セクの適正化を推進されているが、具体の事業等を行っているというわけではないと理解している。

(委員) 専務が企画部門を担当するというわけではなく、あくまでも課長が業務を担っているということですか。

(担当部長) 専務が一時欠員となっていたところを、体制強化して本来業務、法人の目的に沿った活動をするということで、追加補充でお願いしたもの。

(委員) 体制強化ということだが、専務職に何を期待したのか。

(担当部長) 産業振興を推進するために体制強化したもの。

(委員) 給与水準について、市の同年代の職員と比較してどうか。

(担当部長) 同じレベルには届いていない、市職員より低いのではないかと思います。

(委員) 産業支援アドバイザーの年齢的なことがあるが、いつまでという見通しはあるのか。本人の意思次第か。

(担当課長) 現状ではアドバイザーとして10年ということではあるが、まだまだ健康な限りはやるということをして本人から聞いている。会社側でも実績があることからまだお願いするという事だと思ふ。

(担当部長) 経験もあり、ネットワークも持っているということで非常に強みがある。ただ、いつまでというのも考えていかなければならないというタイミングに来ている。

(委員) 問題は現在のアドバイザーがいる限りはいいが、後継者を考えたときに同じ条件で同じように働いてくれる人がいない。パーソナルな部分に依存している状況がいいのかという問題がある。

(担当部長) 指摘の通りと思っている。

(委員) 産業支援アドバイザーに報酬等支払ってもいいと思うが、会社側の方で現状のやり方でいいと判断したということですか。

(担当部長) 専務を配置しているというのは、そのような体制見直しを含めて検討という面もあるが、まだ会社の方針としてそこまで至っていないのが現状。

【評価シート 目的適合性】

(部会長) 各委員が評価した意見をもとに、各評価のチェック項目の○△×を確認し、委員会のA B C D評価をしていく。

(委員) 評価シートの提出が間に合わなかったので、口頭で説明する。チェック項目の①が△、②が○、③と④を△とした。

(部会長) チェック項目①「設立目的に沿った事業をしているか」についてはどうか。

(委員) 委員の意見の中で、「北上地域中部地方拠点地域産業の高度化を図る」とあるが、貸しビル業でも高度化を図ることになるので、定款の目的にある地域の振興を図るための指導、調査研究、指導事業を行うこと、また政治経済などの各種研修会の企画、誘致及び開催とあり、これらが積極的に関わっていないのではないかとと思われるので、具体的に記載してはどうか。

(部会長) 意見にそれらの記述を加えることとする。チェック項目①は△が4人なので△とする。チェック項目②「現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか」はどうか。

(委員) 定款にある目的は有効ということで同意見。

(部会長) チェック項目②の意見はそのまま、○が4人なので○とする。チェック項目③「他の民間事業者との競合はないか、代替可能な類似の事業がないか」はどうか。

(委員) △とした。設立目的で言えば競合性はないが、現在貸しビル業になっており民間競合があると見ざるを得ない。目的での公益性で見れば○だが、実態を見ると必ずしも○ではないのではないかと考えた。

(部会長) 現実として貸しビル業に傾斜しているという内容を加える。

(委員) 産学官連携事業について、実態として現在岩手大学の金型技術センターが市の基盤技術支援センターに入居しており、産業支援アドバイザーにより連携が図られていることから、アドバイザーだけでなく、オフィスプラザの組織として主体的な連携、活動がより求められるのではないかと考えた。

(部会長) 今の部分も加えることとする。チェック項目③は○が4人なので○とする。チェック項目④「事業廃止により市民は不利益を被るか」はどうか。

(委員) △としたが、市の評価で、「事業廃止で直接市民が不利益を被ることはないが、産学官が連携した支援機能が弱まる」とあることから、現在必ずしも強くないのではないかと考えたもの。

(部会長) チェック項目の③と④で関連するのでどちらかで整理する。チェック項目④は○が4人なので○とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 政策評価委員会の評価は「B. 概ね適切」とした。

(部会長) Bが3人ということで、「B. 概ね適切」とする。

【評価シート 財務状況】

(委員) チェック項目全て○とした。

(部会長) チェック項目①「債務超過になっていないか」はどうか。

(委員) 地域の振興を図るための事業を積極的に展開していない結果としての財政健全性と理解している。非常に悩ましい部分だが、項目の上では健全。

(委員) 財務上は健全だが何に投資しているかが問題でどこかで記述は必要。収支に沿った利益か、利益の質の問題。

(委員) 債務超過の部分で記述するかどうか。最初から営業赤字の部分で基金を整備しその運用益で補てんするという仕組みであればいいが、現在その投資有価証券があるのは第2期投資を実施しなかった結果に過ぎない。これをどう使うかは大きな検討課題。株式会社として営業損益を黒字化するのは大原則であるので、第2期投資の実施の議論が必要な中で、投資有価証券を使ってコーディネーターを雇用し本来の業務をするということがあり得ないかということがある。

(部会長) 今の意見は利益の部分で再度整理する。債務超過という部分ということで、チェック項目①は意見もそのままとし、全員○ということもあり○とする。チェック項目②「自己資本が十分に確保されているか」はどうか。

(委員) 自己資本が十分かということ、十分でむしろ多いとも言える。付帯事項として、第2期投資が未実施であり、今後も設備投資等がされないのであればということ。

(部会長) チェック項目②も意見はそのまま、全員○なので○とする。チェック項目③「借入金に依存しない資金運用を行っているか」はどうか。特に無ければ意見はそのまま、全員○であるので○とする。チェック項目④「市に対する財政依存度は低いか」はどうか。それでは意見もそのまま、全員○であるので○とする。チェック項目⑤「直近3年間の利益は確保されているか」はどうか。

(委員) チェック項目①の際の議論で述べたとおり。特記事項でもまとめている。

(部会長) チェック項目⑤は意見はそのままとし、○が4人なので○とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「A. 適切」とした。

(部会長) 数的にはAが多い。

(委員) 形式的には適切だが、本質的には問題があると思われる。

(部会長) 財務ということだけみて「A. 適切」とする。

(委員) 財務状況の評価は適切。経営上では若干違う観点が出てくる。

(部会長) その部分はコメントで反映させることとする。

【評価シート 運営状況】

(委員) チェック項目全て△とした。

(部会長) チェック項目①「経営の基本理念・方針を策定しているか」はどうか。無ければ意見もそのまま、△が4人ということで△とする。チェック項目②「中長期経営計画を策定し計画的に事業運営を行っているか」はどうか。

(委員) 他の委員の意見と同様で、×に近い△とした。

(委員) △の幅があるのでコメントで補うことでいいのではないかな。

(部会長) チェック項目②は意見をそのままとし、△が4人ということで△とする。

チェック項目③「設立目的に沿った十分な成果を上げているか」はどうか。意見もそのまま、全員が△なので△とする。チェック項目④「顧客ニーズを適切に把握できているか」はどうか。無ければ意見もそのまま△が4人なので△とする。チェック項目⑤「市民への情報公開を積極的に行っているか」はどうか。意見をそのままとし、△が4人なので△とする。チェック項目⑥「効率的な組織体制となっているか」はどうか。

(委員) 他の委員の意見と同じようなかたちだが、テナント事業等のみを実施しているのであれば、常勤役員2名は過大であり、当該人件費分でコーディネート業務やインキュベーター業務に精通した人材を確保することが必要と考える。ただこの表現は少し厳しい。

(部会長) 今の意見も取り入れて調整することとする。チェック項目⑥は全員△なので△とする。チェック項目⑦「役職員の人件費は適切か」はどうか。

(委員) 追加資料にあるが、市の基準と比べても非常に安価になっているのではないかな。例えばスタッフの給与は、岩手大学の事務補佐員のフルタイムパートの給与とほとんど変わらない状況で、責任をもって仕事ができるのかということと疑問を感じる。これから専門性を有する職員の採用を検討することが求められるとすれば、給与水準を見直してもいいのではないかな。ただし他の第三セクターとの関係も十分勘案する必要があると思う。

(委員) 「特に問題は認められない」としたが、特に高いわけではないという趣旨。過大かどうかという見方をしたため。働きに見合った給与になっているかという見方は必要で、私の判断の視点に入っていなかった。

(部会長) 適切な給与水準にあるか検討の余地があるということでもいいかな。

(委員) 個人の実際の業務については分からないが、コーディネート業務や企画業務は、それなりの能力、専門性が必要で、一般の事務職員と同じということにはならないのではないかな。いろいろ判断の視点があるが、三セクということで余計な経費がかかっているかということではなく、然るべきレベルの仕事をしてもらうのであれば給与を高くすべきという判断はある。

(委員) 貸しビル業ということで、それに見合った賃金体系であるけれども、本来の定款に基づく業務をする場合の体系になっていないのではないかな。

(部会長) 「特に課題は認められないが、設立目的に対応する適切な職員の給与水準にあるか検討の余地がある。」ということでもいいかな。

(委員) この項目を○としていたが、△に変更する。

(部会長) チェック項目⑦はこれまでの議論を踏まえ△とする。包括的な意見もあるが、内容からチェック項目②に加えることとする。政策評価委員の評価はどうか。

(委員)「C. 一部不適切」とした。

(部会長) 委員の評価が分かれているが、これまでの議論の内容から、概ね適切ではないことから、「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 市の施策との関わり】

(委員) チェック項目①から③まで△、④を○とした。

(部会長) チェック項目①「市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか」はどうか。

(委員) 法人ヒアリングにおいて、株式会社のため自主独立でなければならないということであったが、第三セクターのため、市の公益性を含め一部不採算性分野について市との連携が必要。市と法人との間の相互理解が十分ではないのではないかと思う。

(部会長) 委員の意見で、市と法人の間に齟齬が無いということもあるので、今の部分を列記するかたちで記載する。

(委員) チェック項目の①と②について、提出の際記載漏れがあった。それぞれ△を追加する。

(部会長) 次のチェック項目②「市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか」はどうか。

(委員) 市の期待と法人の考えが必ずしもあっていない、相互理解が十分ではないのではないかということで、チェック項目①での意見をこちらに加える。

(部会長) チェック項目③「市の財政的・人的関与状況は適切か」はどうか。

(委員)「特段の問題は認められない」としたが、適切というわけではないので、この意見は削除する。

(委員) 市として地域振興を図るための中核機関としての位置づけは十分とはいえない。位置付けているのであれば、同社と共同してビジョンを作成し、同社の不採算部門となる活動について、人的・物的支援を措置すべきものとする。表現が厳しいのでどう表現するか。

(部会長) 今の部分を事務局で調整することとする。最後チェック項目④「市の方針によらない場合に市民が不利益を被るか」は意見をそのままとする。包括的な意見もあるが、チェック項目③に加える。チェック項目①と②は全員△なので△、③は△が3人なので△、④は○が4人なので○とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員)「C. 一部不適切」とした。

(部会長) Cが3人となっているので「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 総括意見、特記事項】

(部会長) 今までの議論を総括して記載してあるがどうか。各委員の色々な意見を列記し、最終的にA B C D評価をすることとする。総合評価はどうか。

(委員) 概ね適切ということでB評価とした。

(委員) 同じように、総合的にみて概ね適切でB評価。

(委員) 現状では概ね適切とはいえないのでC評価。

(部会長) どのように判定するか。

(事務局) 次回改めて全体を通して最終的に確定していただくことでいい。

(委員) コメントも含め整理したものを見た上でいいのではないか。ポイントは絞られてきている。追加資料もあるので、これも含めもう一度考える。

(部会長) 総合評価は次回とする。特記事項はそのまま記載する。

(2) 情報通信技術の活用について

北上ケーブルテレビ株式会社

【評価シート 目的適合性】

(委員) チェック項目①は○、②と③は△、④は○とした。

(部会長) チェック項目①「設立目的に沿った事業をしているか」はどうか。無ければ意見はそのまま、○が3人なので○とする。チェック項目②「現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか」はどうか。

(委員) 他の委員の意見とほぼ同じだが、放送と通信の融合により、テレビ放送による娯楽番組の提供については、設立時の状況とは大きく異なっており、ユーザーの要求が希薄化していることから、定款の目的を見直す時期に来ているのではないか。

(部会長) 今の意見を加えることとする。チェック項目②は△が3人なので△とする。チェック項目③「他の民間事業者との競合はないか、代替可能な類似の事業がないか」どうか。委員の意見について併記することとする。△が4人なので△とする。

(委員) 意見の中で、「一部事業において他の民間事業者もサービス提供している」とあるが、大多数の事業ではないか。

(部会長) 一部事業ではなく大多数の事業とする。チェック項目④「事業廃止により市民は不利益を被るか」はどうか。

(委員) 意見の中で、設立目的に沿った適切な事業とあるが、定款にはケーブルテレビの部分しかなく、難視聴対策などはない。定款だけ考えれば娯楽産業として事業を行っており、設立時も純民間ということであったものに、国の指導で公共となったこともあり、そこに齟齬があると感じた。設立目的の部分は削除した方がよいのではないか。

(部会長) 「設立目的に沿った」という部分を削除し、「難視聴地域のサービスや開か

れた行政を支える機能を有することから、適切な事業を展開するならば事業廃止は市民にとって不利益となる」とする。チェック項目④は○が3人なので○とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員)「B. 概ね適切」とした。

(部会長) 全員Bなので、「B. 概ね適切」とする。

【評価シート 財務状況】

(委員) チェック項目①は○、②と③は×、④は○、⑤は△とした。

(部会長) チェック項目①「債務超過になっていないか」はどうか。無ければ意見もそのまま、全員が○なので○とする。チェック項目②「自己資本が十分に確保されているか」はどうか。

(委員) この項目になるかどうかということがあるが、設備の陳腐化に対応するための設備更新が経営を圧迫していることから、設備更新費用の調達が大きな課題となっており、抜本的な対応が必要ではないか。ネットワークとアミューズメント産業との分離をにらんだような表現だが、どこかで記載できないか。

(部会長) 今の意見はチェック項目③で検討することとする。チェック項目②は全員×なので×とする。チェック項目③「借入金に依存しない資金運用を行っているか」はどうか。

(委員) 先ほどの意見が、他の委員の意見に包含されているので、追加しなくてもいい。

(部会長) チェック項目③は全員×なので×とする。チェック項目④「市に対する財政依存度は低いか」はどうか。

(委員) 市から出ているのは公共の部分の番組の制作費用。定款を直していない中では、本来は娯楽産業としてのケーブルテレビで、公共の部分をいただくのは当然だと思うが、その割合は決して高くないということで○とした。普通依存度というと、別の形でお金をもらわないと成り立たないというレベルではないかと思う。

(部会長) 当初の設立目的に沿った事業を行っている現状においては、市に対する財政依存度は高いとは言えないということでもいいか。

(委員) 高いとまでは言えないので○でもいいかと思う。

(委員) 情報基本計画でもあるが、市としてはインフラであるという捉え方をするのであれば、中途半端な財政依存ということではなく、もっと積極的に関与すべきではないかと思う。

(委員) 北上ケーブルテレビはかなり営利法人としての性格が強い。本来の役割を果たすとなると、そもそも市の業務を行うのかという議論になり、そういう観点からすると、市は然るべき対価を支払っているかという観点はあるかもしれない。そもそも依存度という観点ではないかもしれない。ケーブルの保有が株式会社で

いいのかどうか、社会資本と位置付けるのであれば、なぜ株式会社が保有しているのか、バランスシートに記載され、しかも固定資産税が課税されるのは適切かなど考え方の整理が必要。市の市政番組を制作するということが本来の役割なのか、営利法人が対価を得て行う営利事業の一環なのか、非常にあいまい。

(委員) 営利事業の一環と捉えたので、依存度は低いとした。

(委員) この辺を整理する必要がある。どちらかというところ、営利法人としての性格が基本的にあるので、社会資本のケーブルは分離し、営利事業の一環として対価を得て市政番組を流すという方がいいのではないかと思う。

(部会長) 財政依存度は高くないということで後程議論する。何を目標とするかということ。ただ難しい問題。

(委員) もともと純民間としたものが、国の指導が入った。その後市から格差是正、公共放送を受託しているだけというイメージで、不採算部分も引き受け大変ではないかという整理。この後情報基本計画である市でいうインフラと捉えるのであれば、しっかり考えもう一度アミューズメント産業である北上ケーブルテレビにもっと自由度をあげるのか考えるべきではないか。

(委員) その議論は財政依存度という表現の中で議論していくのか。財政依存度は高いとはいえないということか。

(委員) 市からのものがあるとしても、それは財政への依存ではない。

(委員) 本来のアミューズメント産業で公共番組を放送するという番組代。

(委員) 意見の表現を整理する必要があると思うが、「市からの資金を得ているものの事業の対価の範囲内であり、財政に依存ではない」ということでいいか。市はクライアントの一つであるということ。

(部会長) 今の意見を加えることとし、チェック項目④はこの議論を踏まえ○とする。チェック項目⑤「直近3年間の利益は確保されているか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、△が3人なので△とする。総括的な意見があるが、総括意見に記載する。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「C. 一部不適切」とした。

(部会長) 全員がCなので、「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 運営状況】

(委員) チェック項目①が○、②から⑦まで△とした。

(部会長) チェック項目①「経営の基本理念・方針を策定しているか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、全員○ということで○とする。チェック項目②「中長期経営計画を策定し計画的に事業運営を行っているか」はどうか。意見をそのままとし、全員△ということで△とする。チェック項目③「設立目的に沿った十分な成果を上げているか」はどうか。

(委員) 意見の中で、「設立目的にかかわるテーマの一つであるコモンテレビ」とあるが、コモンテレビは設立目的に入っていないことからこの意見を削除する。ただこれまで法人が言ってきた、難視聴地域の解消やコモンテレビとしての役割は、設立目的ではないが、法人の課題として両者が認識してきた。

(委員) コモンテレビの部分を生かして、「設立目的に沿って一定の成果をあげているものと認められるが、営利法人としての限界も感じられ、コモンテレビとしての活動とその成果は十分とは言えない」ではどうか。

(部会長) そのように修正する。チェック項目③は全員が△なので△とする。チェック項目④「顧客ニーズを適切に把握できているか」はどうか。

(委員) 意見の中の、「法人の設立目的の重要な部分を実現することにつながるのであり、」を削除し、「市民に親しまれるメディアとなることが、現状ではその努力や工夫が十分とは言えない」とする。

(委員) 顧客が変わってきていて、行政が顧客になってきているという部分の表現をどうするか。当初の定款をそろそろ変えていかなければならないと思う。

(委員) 顧客の変化を把握することは大事。

(委員) 設立目的では、難視聴対策や行政放送などのコモンテレビの発想がない。

(部会長) 顧客の変化を適切に把握する必要があるという部分を加える。チェック項目④は全員△なので△とする。チェック項目⑤「市民への情報公開を積極的に行っているか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、△が3人なので△とする。チェック項目⑥「効率的な組織体制となっているか」はどうか。

(委員) 和賀有線テレビの事業継承に伴い、同社の人員を社員として確保したが、そろそろ効率的な経営を目指すための人材活用が必要だと思う。

(部会長) 事業継承に伴う社員の扱いについて、合理的な人材活用が必要であるというような文言を追加する。チェック項目⑥は全員が△なので△とする。チェック項目⑦「役職員の人件費は適切か」はどうか。無ければ意見をそのままとし、全員△なので△とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「C. 一部不適切」とした。

(部会長) チェック項目で△が多いことから「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 市の施策との関わり】

(委員) チェック項目①は○、②から④は△とした。

(部会長) チェック項目①「市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか」はどうか。意見をそのままとし、○が3人なので○とする。チェック項目②「市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、全員△なので△とする。チェック項目③「市の財政的・人的関与状況は適切か」はどうか。

- (委員) 情報基本計画に基づくケーブルテレビへの関与を議論すべき。
- (部会長) 今の部分を追加する。チェック項目③は○と△が同数となったが、どうするか。
- (委員) 市はがんばるだろうということで、あえて△とした。より一層の北上ケーブルテレビの活動を考えてほしいということ。
- (委員) 特段の問題は認められないとしたが、必ずしも適切であるというわけではない。財政的・人的と限定的で、市全体の関与とは違うという思いはある。
- (部会長) チェック項目①では一部課題があるが○が多いので○、②では懸念が残るということと、事業の性格をどう捉えるかの整理が必要ということで全員△なので△とした。③では情報計画に基づく支援が必要ということ、財政的・人的関与に特段の問題は認められないが、これで十分かという疑問があるという意見であった。支援の期待で△、問題は認められないが十分ではないという意見。
- (委員) ○としたが決して適切という評価をしているわけではない。
- (委員) 副市長が取締役となっているが、それだけで○としていいのかという判断があったが○とした。△に近い○。
- (部会長) もう一步踏み込んでもらいたいという期待を込めて△としていいか。
- (委員) 情報基本計画で社会資本として位置付けるとしている以上、今後議論すると思うが、アミューズメント産業としてのケーブルテレビをコモンテレビとしていくことを期待したい。
- (部会長) チェック項目③は△とする。チェック項目④「市の方針によらない場合に市民が不利益を被るか」はどうか。
- (委員) 北上ケーブルテレビの活動は、当初の定款に関わらずコモンテレビの活動になっており、市に方針によらない場合にはコモンテレビとしての実態を失ってしまうので、不利益を被ると考える。
- (部会長) 今の部分を追加する。チェック項目④は全員△なので△とする。政策評価委員会の評価はどうか。
- (委員) 「C. 一部不適切」とした。
- (部会長) BとCが同数となったが、どうするか。
- (委員) チェック項目で△が3つあるのでCではないか。
- (部会長) 昨年より厳しい評価になる。
- (委員) 昨年は非営利法人、今年は株式会社ということで、違いがあってもいいのではないか。
- (部会長) 3年経過しての評価ということも踏まえ、「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 総括意見、特記事項】

- (部会長) 総括の評価及び意見の検討は次回行う。

(3) 北上駅前の振興について

北上開発ビル管理株式会社

【評価シート 目的適合性】

- (委員) チェック項目①は○、②から④まで△とした。
- (山会長) チェック項目①「設立目的に沿った事業をしているか」はどうか。
- (委員) この法人の定款ではビルの賃貸及び管理となっていて、賑わいとは一切なっていない。駐車場の管理やタバコの販売などで、設立目的はそのとおりということで○とした。
- (委員) そうではあるが賑わいが課題という認識がある。むしろ設立目的そのものの議論が必要。
- (委員) 第三セクターとしての設立目的ではないと思う。普通の商業ビル。
- (委員) 法人としては何ら遜色のない事業をしている。
- (委員) 株式会社の場合、定款は社団法人や財団法人に比べて重さが違うという感覚がある。定款に書いていないことをやっているケースが圧倒的に多い。財団法人は今は定款だが、以前は寄付行為ということで、最初からなぜこの法人をつくるのかという部分が寄付行為に明確に盛り込まれていた。定款に即してどうかという評価だけでいいかというところがある。
- (委員) 定款には最小限のことしか書かれていない。市のシートにも新幹線駅前の役割を書いている。設立目的は定款だけ見ればいいのかどうか。
- (委員) 三セクの株式会社形式の場合、経営陣と株主、市当局の三者で方向性を協議されているかが大きい。他社もそうだが温度差があるように思う。共通認識を持つべきよってたつ基盤が何であるかとしたとき、それが会社の定款なのか、別の基本計画的なものなのかということではないか。
- (委員) この定款を読むと、第三セクターの定款ではないと思う。普通の会社の定款。
- (委員) この法人には賑わい創出としての部分が期待されていて、市街地再開発の目標をこの法人も担うという認識を持っている。
- (委員) 市の評価でも、定款に基づきビル管理会社としての事業を十分に行っているとしているので、市の意識も問われることになる。
- (委員) ここだけを見れば、法人が役割の取扱いに苦慮している。
- (委員) 法人も市も基本的には、法人の定款よりも開発の意図を実現すべく担い手としての期待が前提になっている。
- (委員) 法人がそのような意識をもっている。
- (部会長) 意見はそのままとし、厳しいかもしれないが、チェック項目①は△が4人なので△とする。チェック項目②「現在の社会経済状況のもとでも設立目的は有効か、希薄化していないか」はどうか。

(委員) 核テナントのイトーヨーカドーの管理運営ということでの設立目的というイメージが強いので、北上駅前の賑わい創出とすれば当初の設立目的は希薄しているという趣旨で、見直しが必要だと思う。

(委員) イトーヨーカドーの撤退に伴って、設立目的の見直しが必要だということか。

(委員) チェック項目①とリンクしている。入口として、ビル管理会社と思うのか、賑わいづくりのための会社かによって違ってくる。

(委員) 最初はイトーヨーカドーがいることで、賑わいは結果得られるものであまり考える必要がなかった。

(委員) イトーヨーカドーさえいれば集客力があり人が流れるということで、手段と目的があまり乖離していない。いなくなって本来の役割は何なのかが分かってきたということ。

(委員) 恐らくいま求められているのはタウンマネジメント。以前はイトーヨーカドーを核としたところの管理運営だったが、いなくなって自らタウンマネジメントをしなければならなくなった。この部分をどう表現するか。

(委員) 設立目的の中に、状況の変化後の対応をしなくていいのかということ。

(委員) 市や法人も含めたステークホルダーの間でも認識が一致していなかったのではないかと思う。それでイトーヨーカドーがいなくなった後の対応に切れを欠いたのではないか。問題の所在について考えてこなかった。

(委員) 貸しビル業であれば、2階にあるようなオフィスを入れることになるが、タウンマネジメントとして賑わい創出であれば、できるだけ賑わいのでるものを入れなければならないという発想になる。今まさに入れなければならないということになったので、そういうところにボタンの掛け違いがあるのではないかと思う。

(委員) チェック項目①の意見で、そもそも設立目的が明確であったかの検証が必要であるというものをに入れておきたい。委員会でも3年前に一度評価しているにも関わらず、その捉え方が違ってきている。現状でやらなければならないことははっきりしてきているが、そこにいくにあたって入口の部分の考え方が各委員違ってきている。今求められているのがもともとの役割なのか、途中で変わってきたのかということ。チェック項目②の意見も、もともとの役割としての意見と、もともとの役割が情勢の変化で今の役割に変わってきたという意見があるので、両論併記ということではいかざるを得ないのではないか。

(委員) 法人と市も考え方が分かれている。

(委員) その辺の明確化が不十分だったことで、これまでの対策がはっきりしなかったのではないかと思う。

(部会長) 設立目的の検証が必要という文章を加えるか。

(委員) 率直に、「設立目的について委員の認識が必ずしも一致していないが、そもそも設立目的の検証が必要ではないか」ではどうか。

(事務局) 今の文言はチェック項目①ではどうか。

(部会長) 設立目的の委員における認識の不一致の点と、設立目的の検証が必要であるという部分をチェック項目①の意見の冒頭に加える。チェック項目②の意見では両論を併記する。

(委員) 意見の中の、「設立目的自体は有効」という部分を削除してはどうか。

(部会長) 設立目的が何かということがあいまいになっているので削除する。チェック項目②は全員△なので△とする。チェック項目③「他の民間事業者との競合はないか、代替可能な類似の事業がないか」はどうか。

(委員) 意見の中の「設立目的」という文言を削除し、「課題」を「定款」に替えてはどうか。

(部会長) そのように修正する。チェック項目③は全員△なので△とする。チェック項目④「事業廃止により市民は不利益を被るか」はどうか。

(委員) 意見の中の、「設立目的」を「課題」に修正する。

(委員) 北上駅前街区の形成を中心としての会社の役割を考えた場合、役割のための適切な対応が見つけられないのであれば廃止によっても市民の不利益の状態は変わらないとなるか。

(部会長) 駅前活性化のための適切な対応が見つからなければということでもいいか。チェック項目④は○が3人なので○とする。総括的意見もあるが、どこで記載するか。

(委員) 目的とあるが、目的が何であるかという議論になる。

(部会長) 目的そのものについての検証がなされるべきというのが一番大きな問題ということから、チェック項目①の意見に加える。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「C. 一部不適切」とした。

(部会長) チェック項目で△が多く、Cが3人なので「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 財務状況】

(委員) チェック項目①は○、②以降全て△とした。

(部会長) チェック項目①「債務超過になっていないか」はどうか。無ければ意見はそのままとする。チェック項目②「自己資本が十分に確保されているか」はどうか。これも意見はそのまま。チェック項目③「借入金に依存しない資金運用を行っているか」はどうか。無ければ意見はそのまま。チェック項目④「市に対する財政依存度は低いか」はどうか。無ければ意見もそのままとする。チェック項目⑤「直近3年間の利益は確保されているか」はどうか。

(委員) 直近3年では若干の黒字基調となっているが、市の生涯学習センターとしての使用料に依存するところが大きく、必ずしも健全とは言い難い。

(部会長) 今の部分を追加する。

(委員) その他に、チェック項目の②か③のどちらかと思うが、建設から30年余が経過し、商業ビルとして大規模改修が必要になってきているが、負債額が大きく自己評価にもあるとおり、新たな融資を得ることが困難な状況にある。

(部会長) チェック項目③に追加する。総括的意見として、「この3年間で一定の改善はみられるものの、現状の活動内容が継続される限り法人の経営が維持されたとしても意味があるのか、疑問を感じる。」とあるが、活動内容の部分なのでここでは削除し、必要に応じて加えることとする。もう一つの「今後の見直しに向けては、市の財政的負担も予想されることから、潜在的な市に対する財政依存度は大きい。」はどうか。

(委員) 現状評価するのか、将来的なことも含んで評価するのかということがあるので、ここではない方がいいのではないかな。

(部会長) 特記事項に記載することとする。チェック項目①は○が4人なので○、②は全員が△なので△、③も全員が△なので△、④は○が3人なので○、⑤は○が4人なので○とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「C. 一部不適切」とした。

(部会長) BとCが同数だがどうか。

(委員) 現状の評価であればBでいいのではないかな。ただし先行きも決して安泰というわけではない。あくまでも現状評価。

(委員) 同じ意見。

(委員) 市の財政依存の部分で、市の生涯学習センターをどう捉えるかを考えたとき、救済策ではないかと思っている。

(委員) 本来の姿ではないという見方。設立目的にも関わってくる問題。

(委員) 健全なテナントということであればBでいいと思われる。

(部会長) チェック項目で○が3つということなので、「B. 概ね適切」とする。

【評価シート 運営状況】

(委員) チェック項目①から⑤は△、⑥と⑦は○とした。

(部会長) チェック項目①「経営の基本理念・方針を策定しているか」はどうか。

(委員) 意見の、「当法人設立の経緯より、経営の基本理念、方針は明確と思われる。」は削除する。

(委員) 設立目的と定款を考えると必ずしも一致していないので△とした。

(委員) 法人ヒアリングでは、ビル管理だけをやっていればいいというわけではないということが伝わってきた。その辺の認識を一致させていかないと、議論が建設的にならない。

(部会長) 先ほどの削除する意見を生かし、「当法人設立の経緯より、経営の基本理念、方針は明確と思われるが、法人と行政との間の認識の差がみられる。」としていい

か。

(委員) 法人と行政ではなく、ステークホルダーではどうか。

(部会長)「当法人設立の経緯より、経営の基本理念、方針は明確と思われるが、ステークホルダー間の認識の共有が十分でない」としていいか。チェック項目①は○が3人なので○とする。チェック項目②「中長期経営計画を策定し計画的に事業運営を行っているか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、○が3人なので○とする。チェック項目③「設立目的に沿った十分な成果を上げているか」はどうか。意見の中の「設立目的」の部分を削除することとする。全員△なので△とする。チェック項目④「顧客ニーズを適切に把握できているか」はどうか。意見をそのままとし、全員△なので△とする。チェック項目⑤「市民への情報公開を積極的に行っているか」はどうか。無ければ意見をそのままとし、全員△なので△とする。チェック項目⑥「効率的な組織体制となっているか」はどうか。

(委員)「特段の問題は認められない」としたが、現状程度の業務をすることにおいてはということ。

(部会長)「現状業務の遂行にあたっては特段の問題は認められない」でいいか。チェック項目⑥は○が4人なので○とする。チェック項目⑦「役職員の人件費は適切か」はどうか。無ければ意見をそのままとし、全員○なので○とする。総括的意見があるが、チェック項目①に加えることとする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員)「C. 一部不適切」とした。

(部会長) チェック項目で○が多いので「B. 概ね適切」とする。

【評価シート 市の施策との関わり】

(委員) チェック項目全て△とした。

(部会長) チェック項目①「市の施策と法人の設立目的、活動内容は適切な方向性にあるか」はどうか。

(委員) 意見の中の、「市の施策、法人の設立目的」の部分を、「施策の方向性」と修正する。

(部会長) そのように修正する。チェック項目①は△が4人なので△とする。チェック項目②「市の期待する成果を十分に上げることが見込めるか」はどうか。

(委員) 市の玄関口にありながら、築30年余を経過した商業ビルの改修能力のない法人の状況を市として適切に考えること自体いかがなものか。厳しい表現ではあるが。

(部会長) 今の部分を意見として加えることとする。チェック項目②は全員△なので△とする。チェック項目③「市の財政的・人的関与状況は適切か」はどうか。

(委員)「特段の問題は認められない」としているが、現状ではそれほど問題ではない。

将来を考えたときとは話が別。「現状では市の財政的・人的関与状況に特段の問題は認められない。」とする。今の状態ということ表現する。

(委員) 生涯学習センターを入居させ、法人の延命に手をかしているだけのように見える。施策の先送りでは無く、抜本的な解決策を検討すべき時期にきているものと思う。それでは抜本的な解決策は何かというと、なかなか難しい。

(委員) 生涯学習センターの部分はぜひ入れた方がいい。

(委員) 市としては、そこに生涯学習センターが入った方がいいごく普通の考え方が、私はそれはそこを埋めるためという認識がある。

(部会長) 私も緊急避難の一つでそれがずっと維持されているという認識がある。生涯学習センターの意見をここに加える。チェック項目③は△が3人なので△とする。チェック項目④「市の方針によらない場合に市民が不利益を被るか」はどうか。

(委員) 市の方針がよく分からない。法人は賑わい創出、市はそこは限定的ということで、どう捉えればいいのかということで△とした。

(部会長) 総括的な意見もあるが、総括意見の冒頭に記載する。

(委員) 基本的に市民の不利益を招くとは考えにくい。

(委員) 設立目的や定款などの問題を引きずっている。

(委員) 何を評価するのか、最後まで影響している。だからといってどちらかでもいいという結論は出せない。

(委員) 設立目的に対する理解の違いにより2つの意見があるという注釈が必要ではないか。

(部会長) 目的適合性でも触れたが、認識の不一致によって異なる2つの意見を併記するという事か。

(委員) 相反する意見があるということを理解いただくことかと思う。

(部会長) 目的適合性の意見の冒頭、「認識の不一致があって異なった意見が列記されている。」を加える。チェック項目④は△が3人なので△とする。政策評価委員会の評価はどうか。

(委員) 「C. 一部不適切」とした。

(部会長) Cが3人なので、「C. 一部不適切」とする。

【評価シート 総括意見、特記事項】

(部会長) 総括意見の冒頭に、チェック項目④の意見にあった総括的な意見を記載する。さらに目的適合性の冒頭に入れる文章もここに記載する。特記事項も含め市の方で整理したものを次回最終的な確認する。法人の総括的な評価もその時に行う。

4 その他

【事務局説明】

次回日程及び評価シートの説明 [略]